

工業蒲田

発行所 東京都大田区蒲田1丁目29番地8
 東京電機工業株式会社
 編集 蒲田工業集誌
 印刷 東京都大田区東矢口3丁目4番17号
 印刷所 東京電機工業株式会社

新春放談あれこれ

司会者 おめでとーございます。実は、去年の放談会の際に、好況、不況のお話が半々くらいありました。

今年はいろいろ大変な事態だと見ても、五〇%ぐらいになってます。私のところでは大体二ヶ月後ぐらいの受注対照になります。

私のところは、大体七〇%ぐらいの仕込みができるんです。今は鋳物も暇ですから、ある程度発注すればすぐ入ってくるわけですよ。

何んでみんな景気がよくて、こととしてペースダウン。一社の方は三月までは生産はそんなんにうかつているのに、おたくがもうからないのかと、だけれども、ほとんどの利益は出してやっています。

去年は、たまたまいい結果が出たんです。やるだけのことはやりましたし、結果もよかったです。それに対して、今年、おとしと非常悪かったです。

去年は、たまたまいい結果が出たんです。やるだけのことはやりましたし、結果もよかったです。それに対して、今年、おとしと非常悪かったです。

去年は、たまたまいい結果が出たんです。やるだけのことはやりましたし、結果もよかったです。それに対して、今年、おとしと非常悪かったです。

本年の見通し

A 去年は、たまたまいい結果が出たんです。やるだけのことはやりましたし、結果もよかったです。それに対して、今年、おとしと非常悪かったです。

B 皆さんがいいときに、うちが来たんです。やるだけのことはやりましたし、結果もよかったです。それに対して、今年、おとしと非常悪かったです。

C 少なうても二、三ぐらいの受注じゃ少ないですね。自動車の受注は、去年は営業のケツをひたして、今年、おとしと非常悪かったです。

D 私のところは、三次、四次の部品が果たしてどういうものか、実態じゃないかという感じがします。

E 昨年ご承知のように、九月頃から車の受注が減りました。これは昨年、東京、大阪で車庫法の問題もあって、自動車の売れ行きが落ちました。

F 私のところは設備関連です。去年は、昨年新聞に出ていたように、ベアリング大手メーカーが三社ありますけれども、この大手メーカーが二けたの収益減です。

G 私のところは設備関連です。去年は、昨年新聞に出ていたように、ベアリング大手メーカーが三社ありますけれども、この大手メーカーが二けたの収益減です。

A 私のところは、景気のいいときも、悪いときも先の見通しがないんです。振り返ってみると実績が残っているという事です。

B 私のところは、景気のいいときも、悪いときも先の見通しがないんです。振り返ってみると実績が残っているという事です。

C 私のところは、景気のいいときも、悪いときも先の見通しがないんです。振り返ってみると実績が残っているという事です。

D 私のところは、三次、四次の部品が果たしてどういうものか、実態じゃないかという感じがします。

E 昨年ご承知のように、九月頃から車の受注が減りました。これは昨年、東京、大阪で車庫法の問題もあって、自動車の売れ行きが落ちました。

F 私のところは設備関連です。去年は、昨年新聞に出ていたように、ベアリング大手メーカーが三社ありますけれども、この大手メーカーが二けたの収益減です。

G 私のところは設備関連です。去年は、昨年新聞に出ていたように、ベアリング大手メーカーが三社ありますけれども、この大手メーカーが二けたの収益減です。



浦田工業協同組合 理事長 石 森 憲 蔵

年頭ご挨拶

浦田工業協同組合

理事長 石 森 憲 蔵

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。組員の方々に、木鶏の皆様に、ご家族お揃いで健康勝って新年を迎えにいられたこと、同慶に存じます。

昨年は一昨年度について世界の景気(経済)の見通しの明るさはほど遠いのが現実のようです。しかし目を国外に向けた時、日本の経済力が、世界経済をリードしな

国、特に米国の力は多大なものであり、それを思い浮べる時、我々

と考へさせられます。それに真

よか。私達製造業は色々な難問を

おこなわれることを願ひ新年のご

挨拶といたします。

得意先は何社か？

司会者 去年ですが、ECの方々が日本に来て、中小企業を見に行きました。その時の話をFさんして下さい。

「おたくは大手電機メーカーの仕事を九〇%以上やっているが、ECの経営者は一社にそんなに依存することは考えられない。おたくはかなり設備をしている。これだけやっている、一社に九〇%も仕事を頼んでいて、大手電機メーカーが不況になったらどうですか」と質問をした。

F ECが視察に来た後に、私達がこの会社に行つたんですけれども、大手電機メーカーが、自分

「おたくは大手電機メーカーの仕事を九〇%以上やっているが、ECの経営者は一社にそんなに依存することは考えられない。おたくはかなり設備をしている。これだけやっている、一社に九〇%も仕事を頼んでいて、大手電機メーカーが不況になったらどうですか」と質問をした。

F ECが視察に来た後に、私達がこの会社に行つたんですけれども、大手電機メーカーが、自分

「おたくは大手電機メーカーの仕事を九〇%以上やっているが、ECの経営者は一社にそんなに依存することは考えられない。おたくはかなり設備をしている。これだけやっている、一社に九〇%も仕事を頼んでいて、大手電機メーカーが不況になったらどうですか」と質問をした。

F ECが視察に来た後に、私達がこの会社に行つたんですけれども、大手電機メーカーが、自分

「おたくは大手電機メーカーの仕事を九〇%以上やっているが、ECの経営者は一社にそんなに依存することは考えられない。おたくはかなり設備をしている。これだけやっている、一社に九〇%も仕事を頼んでいて、大手電機メーカーが不況になったらどうですか」と質問をした。

F ECが視察に来た後に、私達がこの会社に行つたんですけれども、大手電機メーカーが、自分

「おたくは大手電機メーカーの仕事を九〇%以上やっているが、ECの経営者は一社にそんなに依存することは考えられない。おたくはかなり設備をしている。これだけやっている、一社に九〇%も仕事を頼んでいて、大手電機メーカーが不況になったらどうですか」と質問をした。

F ECが視察に来た後に、私達がこの会社に行つたんですけれども、大手電機メーカーが、自分

「おたくは大手電機メーカーの仕事を九〇%以上やっているが、ECの経営者は一社にそんなに依存することは考えられない。おたくはかなり設備をしている。これだけやっている、一社に九〇%も仕事を頼んでいて、大手電機メーカーが不況になったらどうですか」と質問をした。

F ECが視察に来た後に、私達がこの会社に行つたんですけれども、大手電機メーカーが、自分

「おたくは大手電機メーカーの仕事を九〇%以上やっているが、ECの経営者は一社にそんなに依存することは考えられない。おたくはかなり設備をしている。これだけやっている、一社に九〇%も仕事を頼んでいて、大手電機メーカーが不況になったらどうですか」と質問をした。

F ECが視察に来た後に、私達がこの会社に行つたんですけれども、大手電機メーカーが、自分

「おたくは大手電機メーカーの仕事を九〇%以上やっているが、ECの経営者は一社にそんなに依存することは考えられない。おたくはかなり設備をしている。これだけやっている、一社に九〇%も仕事を頼んでいて、大手電機メーカーが不況になったらどうですか」と質問をした。

目次	①
年頭ご挨拶	①
新春放談あれこれ	③
「七福神初詣」	③
「掲示板」	③
「役員だより」	④
「業務報告」	④
「年賀広告」	⑤⑥

（前頁より）
 そうしたら、矢継ぎ早に次のE
 Cの人が、
 「日本の大手企業は、下請けの
 中小企業に、資本も入っていない
 し、役員も入っていないで、九
 〇%も仕事をやっていて、仕事
 なくなくなったときに必ず面倒を
 くれるというんですから、随分
 い国ですわ」と皮肉つたんです。
 けれども、その社長はやはり何
 も言えず、黙り込んでいた
 そうです。
 そんな話を聞きまして、なか
 が鋭い。E Cは一社に依存するよ
 うな経営はしていない。つくづく
 人間の幸せというのは、欧米と

そう思いました。
 司会者 人生観の違いですかね。
 Eさん。
 E 確かに、私はそうだと思います。
 欧州の論理性—欧州の哲学で、
 日本の哲学とて完全に違うよに思
 いますけれども、本来的には、欧
 州の哲学に於いて非常に論理性
 があって、日本は精神的な物の
 ルールと日本のルールとが違
 うと言っているだけであつて、何
 も我々は違っているとは思って
 いません。
 司会者 基本的には狩猟民族と
 農耕民族との違いですか。
 C 私は、そこまでいくかどうか
 かわかりませんが、日本の
 農耕民族は、結局、小作人と地主
 との契約で、今の下請の九〇%の
 話と変らないわけですよ。
 何反歩耕したら、米一俵やるよ
 と。小作人にしてみれば、これは
 一〇%ですよ。
 お米がとれない年であっても、
 一粒もおまねにはならないよは、
 地主は言えないわけですよ。
 西洋の方々と違うところは、そ
 の食いぶちはないでいくんだと
 いう、つぶしたんじや、手伝つて
 もらうとき、手伝つてもらえない
 という、中小企業と親企業との間
 にながっている暗黙の理解とい
 うか、それは欧州人に説明しま
 うと思つてもわからないんじやな
 いですか。
 F 文化の違いはそういうところ
 ろに出ているかと思うんですけど、
 経営者として危機管理を考
 へたときに、一社に九〇%も依存し
 ていたらどうなるんでしょうか。
 司会者 Dさん、E Cの人の、い
 い質問ですね。
 D 私はさっきいろいろ言つた
 ようなことで、ヨーロッパは侵略
 したり、されたり経験があり、

日本は島国ですよ。
 あのヒットした「七人の侍」の
 盗賊は、全部持っていけないんで
 すね。
 E そうなる、我々は今、例
 えばアメリカから日本の経営は
 かしいじやないかと、ルールが
 違うじやないかとやられていま
 すが、何が違うかという、欧州
 のルールと日本のルールとが違
 うと言っているだけであつて、何
 も我々は違っているとは思って
 いません。
 司会者 基本的には狩猟民族と
 農耕民族との違いですか。
 C 私は、そこまでいくかどうか
 かわかりませんが、日本の
 農耕民族は、結局、小作人と地主
 との契約で、今の下請の九〇%の
 話と変らないわけですよ。
 何反歩耕したら、米一俵やるよ
 と。小作人にしてみれば、これは
 一〇%ですよ。
 お米がとれない年であっても、
 一粒もおまねにはならないよは、
 地主は言えないわけですよ。
 西洋の方々と違うところは、そ
 の食いぶちはないでいくんだと
 いう、つぶしたんじや、手伝つて
 もらうとき、手伝つてもらえない
 という、中小企業と親企業との間
 にながっている暗黙の理解とい
 うか、それは欧州人に説明しま
 うと思つてもわからないんじやな
 いですか。
 F 文化の違いはそういうところ
 ろに出ているかと思うんですけど、
 経営者として危機管理を考
 へたときに、一社に九〇%も依存し
 ていたらどうなるんでしょうか。
 司会者 Dさん、E Cの人の、い
 い質問ですね。
 D 私はさっきいろいろ言つた
 ようなことで、ヨーロッパは侵略
 したり、されたり経験があり、

下請も伸びてという、ピラミッド
 が構成されてきました。その中で
 日本の経営でお互い伸びてきて
 いるんですよ。
 その結果、世界的にアンバ
 スがでちやうぐらい力がでち
 やつた。
 一社におんぶにだっこ、お互が
 利用した中で培つちやつたんじ
 やないかと思つてます。
 司会者 Bさん、どうですか。
 う関係かという、そこまでじ
 たわけですよ。

うのは、彼らには考えられないこ
 とです。
 例えば一〇%づつ値引きされた
 ら、十年間で仕事がなくなつて
 ゼロになるという発想ですね。
 だから、新規部品をつつていく
 という話もします。
 司会者 こんな状況の中で何を
 やるべきか。Bさん。
 B 製造業ですから、どうして
 もこれからの人の問題が大きく、常
 にチャレンジしなければなりません
 が、私はAさんと似た考えかも
 知れませんが、皆さんがやらない
 カスをやっています。
 今日、私はびっくりしましたが、
 うちがちょっとやり切れないとい
 うので、あつちこつちに仕事を出
 してはいますが、たまたま月一
 から四百個の仕事の見積りですが、
 本系の下請から返ってきた値段
 が、型代が約倍、単価が二倍位で
 す。考えやりましたね。
 私のところは、そんなに安いの
 でもうからないかなと。よそはそ
 んなにとつているのかと思つて
 それで、電話をかけて、「おま
 のところ、本日はこんなにうか
 るの。本日は厳しいという話だけ
 れども、こんなに単価がいいのか
 といつたら「おまえ、二百とか三
 百なんか誰がやるかよ」と。
 プレスの連中は、みんなをう
 う感覚なんですね。
 A 値段は、私なんかは、一個
 から多いので五十個、百個です。
 この位のロットは、常にやって
 いるか、いないかで、三〇%とか、
 場合によっては二倍にもなります。
 だから、今の話はわかりません。

基本的には契約社会とすじや
 ない違いでしょう。
 向こうは他に安いところがある
 ばそつちへ行。経営者が簡単に
 会社を売るとか、その感覚が全然
 違います。
 そういう見積りが出てきます。
 司会者 Bさん、そんな数の少
 ない仕事だったら、作業者の技術
 的なものが、どうしても必要で
 しょう。
 ところが、その伝統、例えば、
 仕事はこうやるんだみたいな段取
 り、仕組みというものが継承さ
 れないで、すぐパーになるん
 よ。いつもチェックしなければな
 らない。
 ほうつてはすぐもとに返つち
 やう。それはBさんのところ、ど
 うしてはいます。
 私は不況を乗り切るには、そう
 いうことが大事なことだと思つて
 いますよ。
 B 私のところは、そういう品
 物を専門にやっています。だから
 作業者の技術力、それからうちの
 管理能力はどこにも負けないと思
 つています。
 だけど、そういう手づくりとい
 うのは無駄が相当あります。
 司会者 その無駄をもう少し無
 くすしかないとしよう。
 E 先程のコストが安いとか、
 安くはないで、生産技術が
 優れているわけですよ。
 B それを高く売らないということ
 は罪悪感ですよ。
 B そうです。そこに気がつ
 いて。
 E ということは、それを一生
 懸命やっている従業員に、おたく

（五十首順・略敬称）
 石 森 憲 蔵
 株式会社 東電舎
 市 川 宗 紘
 日本中空鋼株式会社
 杉 谷 順 弘
 杉谷金属工業株式会社
 長 坂 基 秀
 長坂精機株式会社
 西 谷 谷 勝 美
 株式会社 東京精密器具
 製作所
 福 島 喜 勝
 第シヤリング株式会社
 増 田 道 造
 岡田鉄金株式会社
 正 田 龍 三
 事務局

新春講演会 新春賀詞交換会

蒲田工業協同組合
同 木 鷄 会

明けておめでどうござい
 ます。
 皆さま方には、ご健勝にて平
 成四年の新春をお迎えになられ
 たこと心からお慶びを申し上
 げます。
 旧年中は格別のご高配ご支援
 を賜り衷心より厚くお礼申し上
 げます。本年も何卒ご指導ご鞭
 撻の程よろしくお願い申し上げ
 ます。
 さて、恒例の新春講演会並び
 に新春賀詞交換会を左記の通り
 開催いたします。
 講演会の講師にはテレビ等で
 おなじみの経済評論家・国際工
 コノミストの、長谷川慶太郎氏
 をお招きして、本年の景況と企
 業経営をお聞きすることとなつ

ていますので、何かと多用の
 ことと拝察いたしますが、万障
 お繰り合わせ、多数ご出席賜わ
 りますようご案内申し上げます。
 記
 新春講演会
 日時 平成四年一月十日(金)
 午後四時～五時半分
 場所 ア・ベア
 テーマ
 「本年の景況と企業経営」
 講師 経済評論家・国際工
 コノミスト 長谷川慶太郎氏
 新春賀詞交換会
 日時 平成四年一月十日(金)
 午後五時～七分
 場所 ア・ベア
 会 費 一万五千元
 (当日持参下さい)



生き残り戦略

ないかもわかりませんが、生かさ
 ず殺さずのところが多分あり
 ます。
 司会者 Aさん、どう思
 いますか。自動車をやっていな
 いんですが、自動車をやっていな
 る場合は、例えば三〇%という
 おつき合いだら、仕事は安定
 的にできませんか。今の経緯か
 らいって。
 戦後四〇年、親会社が伸びて、
 B 今のE Cの人の話ですけれ
 ども、私のところには毎年百人ぐ
 らい外人が来ていますが、同じよ
 うに、日本の中小企業を見に来る
 わけです。
 徹底して研究して来ます。
 個人的に親しい外人も、何でお
 まえのところは、一社依存でや
 っているんだと言いますよ。
 親会社が面倒を見るとか、合理
 化という名目で値引きをするとい

そのいう見積りが出てきます。
 司会者 Bさん、そんな数の少
 ない仕事だったら、作業者の技術
 的なものが、どうしても必要で
 しょう。
 ところが、その伝統、例えば、
 仕事はこうやるんだみたいな段取
 り、仕組みというものが継承さ
 れないで、すぐパーになるん
 よ。いつもチェックしなければな
 らない。
 ほうつてはすぐもとに返つち
 やう。それはBさんのところ、ど
 うしてはいます。
 私は不況を乗り切るには、そう
 いうことが大事なことだと思つて
 いますよ。
 B 私のところは、そういう品
 物を専門にやっています。だから
 作業者の技術力、それからうちの
 管理能力はどこにも負けないと思
 つています。
 だけど、そういう手づくりとい
 うのは無駄が相当あります。
 司会者 その無駄をもう少し無
 くすしかないとしよう。
 E 先程のコストが安いとか、
 安くはないで、生産技術が
 優れているわけですよ。
 B それを高く売らないということ
 は罪悪感ですよ。
 B そうです。そこに気がつ
 いて。
 E ということは、それを一生
 懸命やっている従業員に、おたく

だから、七、八年前から言つて
 別だけれども、倍も払っていない。
 D 僕らも、まさに隙間産業で
 います。
 ほかでやられるならどうぞとい
 う感覚ですつと来ていました。
 Bさんの話を聞いて、技術の向
 上というのは、司会者がいう、何
 とか省エネでコストを下げるた
 めに努力をするよりも、安いもの
 を押しつけてられて、それに追いつ
 こうとする方が技術が上がるんで
 すよ。
 それをまさにBさんがやってき
 たわけですよ。
 それが、技術もさることながら
 今度はそのと同じことを営業でと
 りつか、経営感覚で持たなきゃな
 らないと思つています。
 (次頁へ)

(前頁より)

余裕のあるときこそ、いっぱい種まきをしてあげば、たかだか十数名位の町工場というのは、何とか生き残っているんじゃないですか。

E 鋳物やでも、同じようなことをやっているところがあります。これは給料が三割位高い。それから若い連中がいつぱい入つてきている。

それで試作品をやります。量産品はやりません、これだもの。

司会者 そうすると、相当技術を持っているんですね、若い人も。

E ですから、そういう意味では継承ができていくわけです。人が入ってくるから、それに対して物づくりがやられていくわけですよ。

B 私のところも若い連中が多いけれども、若い連中は種類が多くて重いです。設備投資はみんなよく言うんですが、余りにも数が少ないので出来ないんです。それで、管理の方も大変なやつてしまう。だったら、人手でやっちゃった方が早いんです。

例えば、プレスに台をつけて滑

らせるとかしたら、ものよって一つ一つけなくてはダメですね。

D 一個、一個加工するにもそうしなきゃね。それはうちらでもそうなんです。技術があっても、年をとると力がないから物をつくれな

い。技術はあるんだけど、百キ口を動かさないから、その加工ができないんです。

勿論クレーンを使ったり、テコを使ったりしますが。

それは機械化すれば楽に出来ませんが、何分かやったらまた変えなきゃならない。みんな一個、一個の加工ですから、そんなことして

いられないわけです。

B 従業員の話が出ましたが、景気が落ちてきているときに人がほとんど募集すれば来るんですから、選んでいいのを残しているのがいいんじゃないですか。

E いい人を残していく。要するに、頭数だけそろえてしまえばいいというんじゃないですか。

司会者 Fさん、どうですか。F 前回の不況のときに経験している、安値で物を売らない。これは絶対に守る。

それで時間が余ったら社内教育をするしかないですよ。

こんな馬鹿なことでいいの。そういう時代になってきましたね。どう、Dさん。

D 朝日出版はパブルの夢を追いかけているんですよ、馬鹿な話。司会者 そうですね、一つの例として、登校拒否とか、ニKだとか、学校だつて、先生だつて責任がないとか、いろいろ問題があります。一つ社会に警鐘を打つて。F 実は、私は「七人の侍」をもう一度見に行つたんですが、前

に見たときと雰囲気が違うんです。若い人が圧倒的に多い。しかも、十代の後半から二十代、ちよつと三十代にかかるといふのが圧倒的に多いんです。

ところが、見ている人が、EN Dが出て、最後に一斉に手をたたき出す。映画を見て手をたたき出す。志村喬が一番最後に、「これは我

我武士が勝つたんじゃない。そこ田植をされている百姓が勝つたんだ」との言葉に若い人が何か感じました。

司会者 Cさん、どうですか。C ちよつと話の前に戻りますが、中小企業は、大企業病にかか

つたという広告が最近雑誌に出てくるんですね。真意のほどはよくわかりませんが、いい意味ではないん

だろつと受け取らなければなりません。

じゃ、なぜ中小企業は大企業病にかか

つたかというところ、社長でも、専務でも、極端なことを言つたら、納期が間に合わないときは、トラックに乗って運ぶときがあるわけ

ですよ。ところが、当てはまるかどうか知りませんが、おれは社長だから、お客さんが幾ら文句を言おうと、運んでいられるかいということに

なつたら、中小企業の良さというもの

がなくなつてくるんじゃないですか。

な。一つの役割を果たしていたから、便利を取引先として使われていたはずなんだけれども、その便利さがだんだん集約されてい

つちやうな形になって、とてもこす

じやないけれど、大企業は中小企業なんか使いませんよ。

司会者 中小企業の創業者は、それが出来るんですね。二代目、三代目は出来ませんよ。

だよ。なんて言うんですよ。お前何を言っているんだと言うんです。

だけれども、私はゴルフをやつちやいけな

いよとは言つていませぬ。お母ちゃん一人

でやっていて。D ゴルフをやらなきゃわからな

いんだよ。それは仕事をとるよつと苦勞して、やつとつたんですよ。一ヶ月前に。

の集まりになつちやうたということと持てる軽いものしか運べない。参加費 一万三千円。参拜願路 医王寺(恵比寿) 宝生院(大黒天) 万福寺(福祿寿) 顯経寺(毘沙門天) 眞勝院(弁財天) 良観寺(布袋尊) 観蔵寺(寿老人)以上

柴又七福神初詣のお知らせ 本鶏会の主催で、恒例の「七福神初詣」を、本年は次の順路で柴又七福神初詣を開催致します。ご希望の方は、事務局へお電話下さい。(三七三二)七八二二 尚、奥様方のご同伴を歓迎いたします。

講義会のお知らせ 九一日本経済を展望する。どこへ行く経済大綱ニッポンと題して、左記により講演会が開催されます。 日時 一月三十日(木) 午後一時三〇分~四時三十分 講師 横浜国立大学教授 岸本重陳氏 会場 ホテル三條苑光琳の間 品川区上大崎 一三三 受講料 無料 申込 電話にて(三七七四) (次頁へ)

F 日本もアメリカの二代目になるんじゃないですかね。

E 私のところの下請の百人位の会社が、先々月ですか、工場の隣に事務所を建てたかえ、下が工場が事務所

で、仕留品を運んだんですが、運んだのは、みんな四十代以上。二十代のやつはごころ

ろいりるけれども、机、椅子も運べないというんですよ。

終わった後に行つて、その勤務が「いや、もう二度と事務所の引っ越しは駄目だよ。」

五十代の常務、工場長、部長達の連中がふうふう言っている。二十才前後のやつは、手でふつ

つて、彼らに彼は頑張つて仕事をや

つていたんですから。それを前の日に

来て、これ、やつてくれでは。(笑)

そういうときは、ゴルフへ行くのか。じゃ、いいよ、楽しんで来

ないよ位のことを言つてもいいではないですか。古いですよ。

F 古いのかも知れませんが、二人の話よくわかりませぬ。

要するに、本当に中産階級

だよ。お前は明日ゴルフ

先に行つて、「どうして明日迄にやつてくれよ」と言つと、

「駄目だよ、おれは明日ゴルフ



いいたい放題

司会者 それでは、これから言いたい放題でやりましょう。

私は、変な話だけれども、宮沢りえの写真が二百万も売れるんじゃないかと言っているわけですね。

あの朝日出版社というのは、今まで、後世に残すような本を作ろうとして作っているわけですが、それが大赤字になって燃しちゃうようになっていたんです。

ところが、宮沢りえの本が百万も売れちゃうと十億も出る。

らせるとかしたら、ものよって一つ一つけなくてはダメですね。

D 一個、一個加工するにもそうしなきゃね。それはうちらでもそうなんです。技術があっても、年をとると力がないから物をつくれな

い。技術はあるんだけど、百キ口を動かさないから、その加工ができないんです。

な。一つの役割を果たしていたから、便利を取引先として使われていたはずなんだけれども、その便利さがだんだん集約されてい

つちやうな形になって、とてもこす

じやないけれど、大企業は中小企業なんか使いませんよ。

司会者 中小企業の創業者は、それが出来るんですね。二代目、三代目は出来ませんよ。

だよ。なんて言うんですよ。お前何を言っているんだと言うんです。

だけれども、私はゴルフをやつちやいけな

いよとは言つていませぬ。お母ちゃん一人

でやっていて。D ゴルフをやらなきゃわから

いんだよ。それは仕事をとるよつと苦勞して、やつとつたんですよ。一ヶ月前に。

の集まりになつちやうたということと持てる軽いものしか運べない。参加費 一万三千円。参拜願路 医王寺(恵比寿) 宝生院(大黒天) 万福寺(福祿寿) 顯経寺(毘沙門天) 眞勝院(弁財天) 良観寺(布袋尊) 観蔵寺(寿老人)以上

柴又七福神初詣のお知らせ 本鶏会の主催で、恒例の「七福神初詣」を、本年は次の順路で柴又七福神初詣を開催致します。ご希望の方は、事務局へお電話下さい。(三七三二)七八二二 尚、奥様方のご同伴を歓迎いたします。

講義会のお知らせ 九一日本経済を展望する。どこへ行く経済大綱ニッポンと題して、左記により講演会が開催されます。 日時 一月三十日(木) 午後一時三〇分~四時三十分 講師 横浜国立大学教授 岸本重陳氏 会場 ホテル三條苑光琳の間 品川区上大崎 一三三 受講料 無料 申込 電話にて(三七七四) (次頁へ)

F 日本もアメリカの二代目になるんじゃないですかね。

E 私のところの下請の百人位の会社が、先々月ですか、工場の隣に事務所を建てたかえ、下が工場が事務所

で、仕留品を運んだんですが、運んだのは、みんな四十代以上。二十代のやつはごころ

ろいりるけれども、机、椅子も運べないというんですよ。

終わった後に行つて、その勤務が「いや、もう二度と事務所の引っ越しは駄目だよ。」

五十代の常務、工場長、部長達の連中がふうふう言っている。二十才前後のやつは、手でふつ

つて、彼らに彼は頑張つて仕事をや

つていたんですから。それを前の日に

来て、これ、やつてくれでは。(笑)

そういうときは、ゴルフへ行くのか。じゃ、いいよ、楽しんで来

ないよ位のことを言つてもいいではないですか。古いですよ。

F 古いのかも知れませんが、二人の話よくわかりませぬ。

要するに、本当に中産階級

だよ。お前は明日ゴルフ

先に行つて、「どうして明日迄にやつてくれよ」と言つと、

「駄目だよ、おれは明日ゴルフ

先に行つて、「どうして明日迄にやつてくれよ」と言つと、

「駄目だよ、おれは明日ゴルフ

先に行つて、「どうして明日迄にやつてくれよ」と言つと、

「駄目だよ、おれは明日ゴルフ

先に行つて、「どうして明日迄にやつてくれよ」と言つと、

「駄目だよ、おれは明日ゴルフ

先に行つて、「どうして明日迄にやつてくれよ」と言つと、

「駄目だよ、おれは明日ゴルフ

先に行つて、「どうして明日迄にやつてくれよ」と言つと、

「駄目だよ、おれは明日ゴルフ

先に行つて、「どうして明日迄にやつてくれよ」と言つと、

「駄目だよ、おれは明日ゴルフ

蒲田工業会館の 集会室を ご利用ください

(会議・教室等にご利用下さい)

【使用料】

① 3階講堂 (収容人員 約50名)

	平	日	冷暖房費
午前 (9:00~12:00)	3,000円		1,000円
午後 (1:00~4:30)	3,000円		1,000円

② 2階サロン室 (収容人員 4名~20名)

	平	日	冷暖房費
午前 (9:00~12:00)	2,500円		1,000円
午後 (1:00~4:30)	3,000円		1,000円

日 時 平成四年一月十一日(日) 午後八時四十五分 (時間厳守)

集合場所 JR蒲田駅東口

集合場所 太陽神戸三井銀行前

昼食場所 新小岩「みよし」

【使用料】

① 3階講堂 (収容人員 約50名)

② 2階サロン室 (収容人員 4名~20名)

柴又七福神初詣のお知らせ

本鶏会の主催で、恒例の「七福神初詣」を、本年は次の順路で柴又七福神初詣を開催致します。ご希望の方は、事務局へお電話下さい。(三七三二)七八二二 尚、奥様方のご同伴を歓迎いたします。

講義会のお知らせ

九一日本経済を展望する。どこへ行く経済大綱ニッポンと題して、左記により講演会が開催されます。

日時 一月三十日(木) 午後一時三〇分~四時三十分

講師 横浜国立大学教授 岸本重陳氏

会場 ホテル三條苑光琳の間 品川区上大崎 一三三

受講料 無料

申込 電話にて(三七七四) (次頁へ)

参加費 一万三千円

参拜願路 医王寺(恵比寿) 宝生院(大黒天) 万福寺(福祿寿) 顯経寺(毘沙門天) 眞勝院(弁財天) 良観寺(布袋尊) 観蔵寺(寿老人)以上

掲示板

※組合員は3割引きです。 ※消費税は別途お願いします。

(前頁より)

六六六内線三四
三五 労働教育係宛
主 催 東京都品川労政事務所
労働講座のお知らせ
時短・賃上げとどこまで可能?と題して、左記により労働講座が開催されます。

日時 一月三十一日(金)
午後一時三十分～四時三十分
講師 日本労働研究機構 研究員
梶原昭一氏

会場 ホテル三條苑光琳の間
品川区上大崎一丁目三三
申込 電話にて(三七七四) 無料
受講料 無料
演 講 又毎月第二火曜には経営サロン等を開催しています。

主 催 東京都品川労政事務所
講習会のお知らせ
大田区連主催では左記のとおり講習会を予定しています。
CAD講習会
日時 一月二十一日～二十三日
十四日



永年勤続優良従業員表彰式



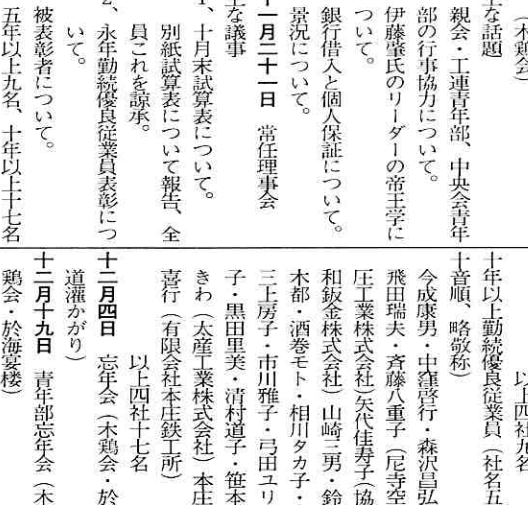
木鶏会工場見学



木鶏会忘年会



木鶏会忘年会



木鶏会忘年会

会場 富士通システムラボラトリ
アーケ溶接講習会
日時 一月中旬
会場 伊藤建設研究所
やさしい図面の見方講習会
日時 三月下旬
会場 大田区産業会館
詳細は事務局電話(三七三三) 七八二番へお問合せ下さい。

味、家庭、政治、哲学に及んでい
ます。
又年一回は酒を飲み交す親睦
の席を設けています。
加入年令は四十五才まで。
詳細は事務局へお電話下さい。
関係書類をお届け申し上げます。
電話(三七三三) 七八二番

永眠されました。
茲に謹んで哀福を祈念申し上
げます。
永眠されました。
茲に謹んで哀福を祈念申し上
げます。

技術指導講習会 やさしい図面
の見方
八月二十日 青年部経営サロン
(木鶏会)
主な話題
税理士について。
経理担当者について。
社長夫人と業務について。
九月四日 定例経営サロン(木鶏
会)
主な話題
マイクロの景況について。
兄弟の会社運営について。
九月十七日 青年部経営サロン
(木鶏会)
主な話題
従業員のサラ金利用について。
自動車の管理について。
新入社員の有給休暇と平日有給
休暇について。
地価と建築費について。
景況について。
不動産投資と節税について。
消費税について。
九月二十五日 機関紙「業蒲田」
速報版発行
主な記事

節税教室
労働講座募集案内。
自動車ローンは組合で。
十月二日 定例経営サロン(木鶏
会)
主な話題
設備投資と償却について。
経営者の危機管理について。
親工場との基本契約について。
工場拡張と従業員の待遇家族と
の話し合いについて。
十月八日 東京都中小企業団体中
央会創立二十五周年記念の席上
石森憲蔵理事長・島海保男理事・
豊間厚隆理事は、組合功労者とし
て東京都知事感謝状を授章。
十月九日 常任理事会
1、九月末試算表について。
別紙試算表について報告、全
員これを諒承。
十一月十三日 定例経営サロン
(木鶏会)
主な話題
金融機関の貸出抑制について。
経営者としての景況の見通しと
決断について。
EC諸国の日本企業工場見学に
ついて。
十一月十九日 青年部経営サロン
(木鶏会)
主な話題
親会・工連青年部、中央会青年
部の行事協力について。
伊藤肇氏のリーダーの帝王学に
ついて。
銀行借入と個人保証について。
景況について。
十一月二十一日 常任理事会
主な議題
1、十月末試算表について。
別紙試算表について報告、全
員これを諒承。
2、永年勤続優良従業員表彰につ
いて。
被表彰者について。
五年以上九名、十年以上十七名
計二十六名を表彰することに決
定。

以上夫々原案通り異議なく可決。
十月十五日 青年部経営サロン
(木鶏会)
主な話題
主力製品の他社流出について。
季節商品等変動の多い商品の増
産対策。
中途採用者の賃金高騰と従業員
との賃金調整について。
工場拡張と従業員の待遇家族と
の話し合いについて。
十月二十四日 第四十三回中小企
業団体全国大会参加(石森理事
長・西ヶ谷副理事長・市川専務
理事・杉谷常任理事出席)
十一月六日～七日 工場見学並び
に「西沢漢台」紅葉狩木鶏会
見学先(株キート)
十一月十三日 定例経営サロン
(木鶏会)
主な話題
金融機関の貸出抑制について。
経営者としての景況の見通しと
決断について。
EC諸国の日本企業工場見学に
ついて。
十一月十九日 青年部経営サロン
(木鶏会)
主な話題
親会・工連青年部、中央会青年
部の行事協力について。
伊藤肇氏のリーダーの帝王学に
ついて。
銀行借入と個人保証について。
景況について。
十一月二十一日 常任理事会
主な議題
1、十月末試算表について。
別紙試算表について報告、全
員これを諒承。
2、永年勤続優良従業員表彰につ
いて。
被表彰者について。
五年以上九名、十年以上十七名
計二十六名を表彰することに決
定。

3、年末年始休日について。
十二月二十九日(日)～一月五
日(日)の間に決定。
4、新春講演会・新春賞詞交換会
について。
左の通り決定。
日時 平成四年一月十日(金)
午後四時～五時三十分新春講
演会、午後五時三十分より新
春賞詞交換会。
場所 II・A・B
講演会テーマ 本年の景況と企
業経営 講師 経済評論家、国際
エコノミスト長谷川慶太郎氏。
十二月二十一日 放談会・懇親会
十二月二十三日 永年勤続優良従
業員表彰式(於大田区民プラザ)
被表彰者は左の通りです。
五年以上勤続優良従業員(社名五
十音順、略敬称)
益子努(尼吉亭庄工業株式会社)
中山成則・岩佐代(岩佐機
株式会社)
富田英夫・大庭努・
野村和久・小川一也(大産業
株式会社) 園分英三・及川秀雄
(有限会社本庄鉄工所)
以上四社九名
十年以上勤続優良従業員(社名五
十音順、略敬称)
今成康男・中窪啓行・森沢昌弘
飛田瑞夫・斎藤八重子(尼吉亭
庄工業株式会社) 矢代佳寿子協
和銀金株式会社) 山崎勇・鈴
木部・酒巻モト・相川タカ子・
三上房子・市川雅子・弓田ヨリ
子・黒田里美・清村道子・笹本
さわ(太産工業株式会社) 本庄
喜行(有限会社本庄鉄工所)
以上四社十七名
十二月四日 忘年会(木鶏会・於
道灌がかり)
十二月十九日 青年部忘年会(木
鶏会・於海宴楼)
以上

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

蒲田工業協同組合員有志

(五十音順)

機械器具製造業

尼寺空圧工業株式会社
代表取締役 尼寺春一

大阪伸栄工業株式会社
代表取締役 鶴巻英樹

合資会社 大津鉄工所
代表取締役 大津 暢

株式会社 弘 機 商 会
代表取締役 坪根 五久代

坂口精密工業株式会社
代表取締役 坂口 俊夫

炭研精工株式会社
代表取締役 永井 彌太郎

ティヴィバルブ株式会社
代表取締役 竹内 栄多

株式会社 東京精密器具製作所
代表取締役 西ヶ谷 静司

長坂精機株式会社
代表取締役 長坂 基秀

株式会社 日 産 電 機
代表取締役 中村 國男

日本チエンギヤ―無段変速機株式会社
代表取締役 加藤 進弘

有限会社 富士精機製作所
代表取締役 荻野 幸男

藤田工業株式会社
代表取締役 藤田 雅康

株式会社 藤 原 製 作 所
代表取締役 藤原 長作

株式会社 文 化 精 工
代表取締役 桑原 久直

三津浜工業株式会社
代表取締役 木々津 栄一

株式会社 妙 德
代表取締役 伊勢 養治

株式会社 山田精機製作所
代表取締役 山田 重利

電気機械器具製造業

出雲電機株式会社
代表取締役 雲野 和信

株式会社 小林電機製作所
取締役社長 小林 竹平

太産工業株式会社
代表取締役 千葉 博

株式会社 瀧口製作所
取締役社長 瀧口 正文

株式会社 東 電 舎
代表取締役 石森 憲蔵

株式会社 中山電機工芸社
代表取締役 中山 致

永森電機株式会社
取締役社長 永森 忠夫

株式会社 マコメ研究所
代表取締役 植村 三良

輸送用機械器具製造業

株式会社 明石金属製作所
代表取締役 飯田 直城

江崎工業株式会社
取締役社長 江崎 武

荏原工業株式会社
取締役社長 長井 俊樹

株式会社 大谷造機所
取締役社長 大谷 文雄

謹賀新年

蒲田工業協同組合

(五十音順)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|------|-----|-------|-----|-------|----|-------|------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|----|--------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|------|----|------|
| 顧問 | 千葉 博 | 相談役 | 岡田 春一 | 相談役 | 富田 耕平 | 理事 | 石森 憲蔵 | 副理事長 | 西ヶ谷 勝美 | 会計担当 | 市川 宗紘 | 専務理事 | 赤井 弘志 | 常任理事 | 杉谷 順弘 | 常任理事 | 増田 道造 | 常任理事 | 新井 陽一 | 理事 | 岩崎 登喜雄 | 理事 | 大谷 文雄 | 理事 | 加藤 進弘 | 理事 | 川瀬 純一 | 理事 | 小林 章彦 | 理事 | 鳥海 保男 | 理事 | 長井 俊樹 | 理事 | 長坂 基秀 | 理事 | 西野 三郎 | 理事 | 野口 三郎 | 理事 | 福島 喜勝 | 理事 | 正田 竜三 | 監事 | 豊間 厚 | 監事 | 中山 致 |
|----|------|-----|-------|-----|-------|----|-------|------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|----|--------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|------|----|------|

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

蒲田工業協同組合員有志

(五十音順)

(前頁より)

輸送用機械器具製造業

株式会社 清川製作所
代表取締役 川瀬純一

多田プレス工業株式会社
取締役社長 多田嘉之

株式会社 東京スピンドル製作所
代表取締役 堀井脩市

株式会社 鳥海製作所
取締役社長 鳥海保男

日本中空鋼株式会社
代表取締役 市川宗紘

有限会社 蓮沼機械製作所
代表取締役 佐久間庄吉

株式会社 ユタカ製作所
代表取締役 佐藤恒徳

金属製品製造業

株式会社 旭川製作所
代表取締役 武田弘

株式会社 佐々木発條株式会社
代表取締役 佐々木良彦

シンドー工業株式会社
代表取締役 信藤秀夫

第一シャーリング工業株式会社
代表取締役 福島喜勝

東亜株式会社
代表取締役 小柳隆

トヤマ機器工業株式会社
取締役社長 能登厚

同和発條株式会社
取締役社長 川島慎治

株式会社 羽田パイプ製造所
取締役社長 野口広

有限会社 早崎製作所
代表取締役 早崎吉春

有限会社 古川塗装工業所
代表取締役 古川金一

株式会社 松原製作所
代表取締役 松原一喜

プレス・鋅金・製罐業

株式会社 赤井製作所
代表取締役 赤井弘志

株式会社 新井久四郎鉄工所
代表取締役 新井陽一

株式会社 内田製作所
取締役社長 内田正勝

株式会社 内原製作所
技術課長 内原康雄

株式会社 榎田製作所
代表取締役 榎田幸司

岡田鋅金株式会社
代表取締役 増田道造

協和鋅金株式会社
代表取締役 服部和央

株式会社 清水鉄工所
代表取締役 清水重幸

大和部品株式会社
代表取締役 今井敏夫

株式会社 東亜製作所
代表取締役 古橋透

株式会社 蛭田電機製作所
代表取締役 蛭田好勝

株式会社 新井久四郎鉄工所
代表取締役 新井陽一

株式会社 内田製作所
取締役社長 内田正勝

株式会社 内原製作所
技術課長 内原康雄

株式会社 榎田製作所
代表取締役 榎田幸司

岡田鋅金株式会社
代表取締役 増田道造

協和鋅金株式会社
代表取締役 服部和央

株式会社 清水鉄工所
代表取締役 清水重幸

大和部品株式会社
代表取締役 今井敏夫

株式会社 東亜製作所
代表取締役 古橋透

株式会社 蛭田電機製作所
代表取締役 蛭田好勝

メツキ業

エビナ電化工業株式会社
取締役社長 海老名平吉

株式会社 三協アルマイト
代表取締役 岩崎登喜雄

鋳物・鍛造業

恩田鉄工株式会社
取締役社長 武井武

有限会社 京浜鋳造所
代表取締役 神道晃

杉谷金属工業株式会社
代表取締役 杉谷順弘

その他の

岩佐工機株式会社
代表取締役 岩佐勇

河原テント株式会社
代表取締役 河原祥浩

株式会社 気球製作所
代表取締役 豊間厚

秀和工業株式会社
代表取締役 岡田みつ

合資会社 ニシノ
代表社員 西野三郎

株式会社 日章機械
代表取締役 小林章彦

株式会社 日伸製作所
取締役社長 富田耕平